

平成29年度

経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組事例

○IR機能の強化

<学外委員意見>

- ・IR組織・URAは、組織や研究の壁を破るという意味で、これまでにない視点で大学内部を横断的に見ることができる一つの手法。すぐに結果はでないかもしれないが、じっくり育てていく必要があるのではないかと。【平成29年度第1回経営協議会】

<今年度における主な取組事例>

- ・戦略企画本部「IRオフィス」のIRオフィス長にIR担当副学長を配置するとともに、学長補佐、エデュケーション・アドミニストレーター（UEA）、リサーチ・アドミニストレーター（URA）等で構成する「IR会議」を新設し、IR機能を強化した。
これにより、全学的な視点から、中期目標・中期計画や機能強化促進事業をはじめ、「研究大学強化促進事業」（文部科学省）、「スーパーグローバル大学創成支援事業」（文部科学省）の各事業に関するモニタリングや他機関のベンチマークによる比較分析を実施できる体制となり、「IRオフィス」の調査・分析と「IR会議」の評価・検証を経て、学長を本部長とする「戦略企画本部」に提案・報告を行うというPDCAサイクルを一層促進するスキームを構築した。
- ・「IRオフィス」におけるIR機能を持続的に発展させるため、事務局企画・教育部企画総務課に評価・IR係を新たに設けることを決定し、IR業務を組織的に支援する体制を整備した。

○1研究科再編のアナウンスについて

<学外委員意見>

- ・1研究科に移行する一番の利点は学生に対する融合領域の教育が可能となることだが、新たな教育の内容を理解してもらうためにも、奈良先端を志望する学生への情報提供ツールとして、ホームページで最新の情報提供をしていく必要がある。【平成29年度第2回経営協議会】
- ・学生がどの分野でどんな教育を受けるかといったイメージを具体的に持てるように、ガイダンスや指導の仕組みを整備すべきである。【平成29年度第2回経営協議会】

<今年度における主な取組事例>

- ・本学ウェブサイト、教育プログラムの学修事例や入試から学位取得までのスケジュール等を掲載した先端科学技術研究科設置に関する特設ページを開設した。また、学生募集説明会や受験生のためのオープンキャンパス等において入学希望者に対して説明会を実施するとともに、在学生・教職員を対象に「新研究科体制に係る学内説明会」を実施し、新たな研究科における学修や研究活動を具体的にイメージできるよう情報共有を促進した。

○外部資金の獲得方策

<学外委員意見>

- ・外部資金の獲得増に関しては、大学全体で戦略的に考えるべき。【平成29年度第1回経営協議会】

<今年度における主な取組事例>

- ・新たな教育研究システム改革等の補助金の獲得に向け、博士課程前期・後期の一貫した学位プログラムの構築や工学系教育改革の実現に向けた制度設計のあり方等の政策動向も踏まえ、「戦略企画本部」に「卓越大学院プログラム申請準備プロジェクトチーム」を設置して卓越大学院プログラム構想に関する検討を開始した。

○留学生のキャリア支援

<学外委員意見>

- ・留学生の採用に関する企業の積極性は高まってきているが、なかなか企業のニーズと留学生の能力等とのマッチングが成功しない。企業内では日本語によるコミュニケーションも重要なので、日本企業に就職するなら、留学生への日本語教育は大事。【平成21年度第3回経営協議会】
- ・グローバル化社会において、留学生が自国で活躍するだけでなく、日本において活躍することもあり、留学生のキャリアパスを大学として具体的に考えておく必要がある。【平成23年度第5回経営協議会】

<今年度における主な取組事例>

- ・留学生への就職支援を行うため、「教育推進機構」に配置した留学生キャリア支援担当のエデュケーション・アドミニストレーター（UEA）が中心となって、年間約150件の英語による「キャリア相談」と年間12回にわたる英語による「就職ガイダンス」の開催に加え、新たに、日本語力の向上に向けた「日本語能力試験対策講座」や、留学生の採用を計画している企業と留学生とのマッチングを推進する「留学生と留学生採用を考える企業との交流会」を実施した。

○優秀な外国人教員の確保

<学外委員意見>

- ・大学の日常業務やガバナンス制度の国際化を推進するためには、2言語で対応できる職員が必要となる。また、優秀な外国人教員を呼ぶためには、配偶者の職をどうするかといったことも考慮した戦略を立てるべきである。【平成25年度第3回経営協議会】

<今年度における主な取組事例>

- ・採用教員のパートナー（配偶者等）を対象に就労支援情報を提供する「Partner Opportunities Program (POP)」を制度化した。